

10月の保育目標

<年少>ねらい：友だちと一緒に活動を協力して取り組むことで喜びや楽しさを共有し関りを深める。

健康：縄跳びを通して、両足ジャンプ・縄をまたぐ・縄を回す等の動作が出来るようになる。

人間関係：友だちや保育者とごっこ遊びをする中でやりとりを楽しむ。
(友だちのしている事をまねてみたり、保育者に自分がいけないと思った事を伝えに来る。)

環境：紅葉や虫の鳴き声に関心を持つ。

運動会の練習を通して、自分の場所や順番等を意識する。

言葉：「かして」「いいよ」等友だちと関わる中で必要な言葉を使おうとする

表現：積み木やカプラを使って、並べたりつなげたり、自分なりに構成する事を楽しむ。

<年中>ねらい：期待や自信を持って、運動会に参加する。

遠足(芋ほり)を楽しみにしながら、秋の食材に興味や関心をもつ。

健康：うがいや何が予防できるのかイラストやお話を通して理解し実践しようとする。

人間関係：パラバルーンやロープ演技を楽しみながら、クラスのお友だちや学年全体で気持ちを一つにし、協力し合う大切さを知る。

環境：遠足で芋ほりを経験し、土の感触や収穫の喜びを感じる。

(木々の色づきや実りを観察し、絵本や図鑑と照らし合わせる。)

言葉：どんなことが楽しかったか、明日は何をして遊びたいのか等、みんなの前で発表する。

表現：絵の具を混ぜ合わせ変化していく色の様子を楽しみ、絵画に取り入れる

<年長>ねらい：芋ほりやどんぐり拾い等、秋の自然にふれ、遊びの中に取り入れたり、試したりして遊ぶ事を楽しむ。

健康：秋が旬の食材を知り、給食や家庭での料理に関心を持ち、初めて食べる物やあまり好きでない物も試してみる。

人間関係：運動会を通して友だちと一緒に協力し合ったり励まし合いながら、目標に達成する喜びを味わう。

環境：木の実や落ち葉等の秋の自然に興味を持ち、ままごとや制作の素材として使う。

言葉：物語の世界に想像を膨らませ、本を読んだり、読み聞かせを聞いたりする事を楽しむ。

表現：色や大きさ、質感等様々な素材の違いに着目してこだわりを持って制作する。

10月の保育目標

<コアラ>ねらい： 秋の自然にふれ、親しみながら友だちと遊ぶ。

健康： 食事のマナーを知り、友だちと一緒に食べる事を楽しむ。（左手でお碗を持つ・ご飯粒をきれいに集める）

人間関係： 友だちとイメージを共有して遊びを展開させていく楽しさを知る。
「おにごっこ」「おままごと」運動会の縄遊びなど。

環境： 見たり触れたりしながら秋の自然を楽しむ。
虫の声や葉の色の変化に気付く、見つける。

言葉： 自然の音や身近な音に耳を傾け、言葉や動作で表現して遊ぶ。
「ひらひら～」「コロコロ」「ザーザー」「びゅんびゅん」等。

表現： 保育者や友だちと全身や手指を使う遊びを楽しむ。
「小さな庭」「1本と5本で」「かなづちトントン」「おはなし指さん」
（指先の巧緻性を高める・メロディオンに向けて指を自由に動かせる）

<つぼみ1>ねらい： 保育者と一緒に初めての運動会に楽しんで参加する。

健康： かけっこや体操・競技練習を楽しんで行う。
水分補給をしっかりと取り、休息する。

人間関係： お友だちと玩具を共有して遊ぶ。
お兄さん・お姉さんの運動会練習を見る機会を持つ。

環境： トイレでの排泄を絵本などで見たりして、興味を持つ。

言葉： 名前を呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。

表現： 保育者と一緒に園歌や季節の歌を歌うことを楽しむ。

<つぼみ2>ねらい： 秋の自然に触れながら、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。

運動会に期待を持って参加する。

健康： パンツを膝までおろす事やトイレットペーパーの切り取り方等の後始末をしようとしてりする。

元気にかけっこしたり、競技に意欲を持って取り組む。

人間関係： 遊びや生活の中で順番を守る大切さを知る。

環境： ハサミに興味を持ち、安全な使い方を身に付ける。

言葉： 絵本の話や友だちとのやりとりから、会話をする楽しさを味わう。

表現： 自然に親しみ、トンボ・ドングリなどの真似をしながら、歌を歌うことを楽しむ。

